

活水高等学校・音楽コースニュース♪

<2011年12月>

コンクール状況（2学期）



○ 第35回全九州高等学校音楽コンクール
ピアノ部門 銀賞 梅野衣央梨（Ⅲ佐須奈中卒）

○ 第21回全日本ジュニアクラシックコンクール
（全国大会）

ヴァイオリン部門 奨励賞 岩崎 彩花（Ⅲ桜馬場中卒）
声楽部門 奨励賞 佐々木紫乃（Ⅲ活水中卒）

○ 第16回長崎音楽コンクール（PIARA長崎地区予選）

最優秀賞 城崎万由子（Ⅱ長大附属中卒）

優秀賞 山口 紗季（Ⅲ緑が丘中卒）

優秀賞 藤下かなめ（Ⅰ東長崎中卒）

○ 第13回ショパン国際ピアノコンクール in ASIA
（地区大会）

奨励賞 林田 明子（Ⅱ東長崎中卒）

○ 第2回山手の丘音楽コンクール

第3位 川村 麻実（Ⅱ岩屋中卒）

○ 第9回ヴェルデ音楽コンクール（本選）

銀賞 小幡 祥子（Ⅲ活水中卒）

○ 第21回グレンツェンピアノコンクール（地区本選）

銀賞 池田奈菜子（Ⅲ東長崎中卒）

銅賞 小淵 泉（Ⅲ小ヶ倉中卒）



音楽コースⅢ年生による

第2回修了演奏会♪

日時：2012年1月28日（土）

12：30開場13：00開演

場所：活水中学・高等学校 チャペル



音楽コース

I II 年生による演奏会♪

日時：2012年3月10日（土）

09：00開場09：30開演

場所：活水中学・高等学校 チャペル

2012年度 大学入学試験合格速報！！

- ☆福岡教育大学・・・1名
- ☆長崎大学・・・1名
- ☆活水女子大学・・・2名
- ☆国立音楽大学・・・2名
- ☆武蔵野音楽大学・・・2名
- ☆フェリス女学院大学・・・1名
- ☆洗足学園大学・・・1名
- ☆大分芸術短期大学・・・1名
- ☆長崎女子短期大学・・・2名
- ☆九州大谷短期大学・・・1名

2012年度

活水高等学校入学試験

推薦入試 1月12日（木）

一般入試 1月26日（木）

お問い合わせ先：活水中学・高等学校
〒長崎市宝栄町 15-11 TEL095-861-5176
<http://www.kwassui.ac.jp/chuko/>



★特別講義ノート★

声楽集中講義

<永吉美恵子先生 / 活水女子大学教授>

9 / 28 (水) III年 野田 瑠音

横隔膜の支えが出来ている時と、出来ない時の声の響きの違いに驚きました。特に高い音の時、支えが必要だと思いました。ただ歌うだけではなく、声楽は自分が楽器なので、体をうまく使って歌うことの大切さを学びました。

皆の声がどんどん変わっていく、楽しい集中講義でした。

ピアノ集中講義

<迫 昭嘉 先生 / 東京芸術大学教授>

10 / 11 (火) III年 山口 紗季

今回の集中講義で、私はショパンのエチュード Op.10-9 を指導して頂きました。しかし、練習不足が浮き彫りになっていたと反省しています。

この曲は、特に左手の強化を目的とした曲ですが、メロディや流ればかりに気をとられて左手の動きが流れてしまっていました。先生に教えて頂いた、腕から鍵盤に指を運ぶことや、力を抜いて鍵盤をけるように押す弾き方をゆっくりから何度も練習して、確実に自分のものにして、エチュード以外の曲にも生かしていこうと思います。

また、> →□ にするところでは、「□ になった最初の音が自分で聞こえていなかったら聴いている人にも聞こえないよ」と言われていて、後で録音をよく聴いてみると、本当に自分が聞こえていた時は音がハッキリ聞こえて、聞こえていなかった時はモヤモヤとしていたので、もっと自分の弾く音の一つ一つに意識をもって弾かなければならないと思いました。

東京芸術大学の先生のレッスンは滅多に受けられないので、2年連続で受けさせてもらえて、本当に嬉しかったです。活水に来ていなかったらできない体験でしたし、これから先もあるかどうか分からないようなことなので、今回教えて頂いたことをしっかり自分のものにして、この経験を将来に生かしていきたいと思います。

ピアノ集中講義

<迫 昭嘉 先生 / 東京芸術大学教授>

10 / 11 (火) III年 池田奈菜子

今回の集中講義は、ショパンのエチュード(練習曲)について深く学びました。

エチュード Op.10-4 は何の練習なのか、よく分かっていませんでしたが、今回初めて1小節ずつの切り替えの練習だと知りました。よく動く所は、肩から腕の運動が大切で、自分も動かしか方に注意しようと思いました。> と< の違いを出すのもしっかり意識しないといけないなと思いました。レガートの使い方や練習方法、音のハッキリした出し方など知ることができて良かったです。また、自分の弾いている曲なども講義して下さったので、是非、参考にしたいと思います。

講義の前に、迫先生が演奏して下さいました。スカルラッチェのピアノ曲がとても可愛くて、リストは優雅で、グラナドスは柔らかくて、いろんな表情の演奏が聴けてとても感動しました。

ピアノを弾くにあたって、大切なことを教えて下さったので、それを頭に入れてこれから練習していきたいと思います。

理論集中講義

<鶴崎庚一先生 / 武蔵野音楽大学名誉教授>

10 / 26 (水) II年 朝長 真矢

今回の講義では、バッハ、ベートーヴェン、ショパンの誰でも良く知っている作曲者の3曲を細かく見ていきました。何も考えずに1つの作品を聞くのではなく、どこがメロディで、どこがハーモニーが移り変わっている所なのかなど、1フレーズを注意して聴くと、作曲者がどういうところを聴いてほしいのか、響かせたいのかが分かり、どれだけ譜読みが大切かを知ることができました。

また、頭で考えるだけでなく、響きの音色や、全体の流れ、ハーモニーの移り変わりなどを「心」で意識することも大切だと分かりました。更に、鶴崎先生が言われた「心から心に戻る」「演奏は心で」という言葉はとても印象深く、普段の練習や演奏の時に改めて「心」が大切なのだなあと思いました。

今回の講義で学んだ皆さんのことを、今後の演奏や、いつもの練習、また、様々な人の演奏を聞く機会があるときなど、ただ、「聞く」のではなく、いろんなことを考えて、「聴く」ということを意識したいと思いました。

理論集中講義

<鶴崎庚一先生 / 武蔵野音楽大学名誉教授>

10 / 26 (水) II年 城崎万由子

I年生の時、この理論の講義を聞いたときは、ほとんどの内容が理解できませんでしたが、II年生になって音楽の授業が増え、幅広い内容を学んでいるので、I年生の時よりは理解できたと思います。

最初のバッハの平均律 No.6 では、左手もよく響かせなければならぬこと、フーガは真ん中の声部を大事にすること、テーマを聴くことや調性を考えることなど、たくさん学ぶことができました。その他、ベートーヴェンの作品では、「骨格」が大事であることや、ショパンの作品では、弾く人が音に感動しなければならぬことなどを学んだので、これからの自分のピアノ演奏に活かそうだなと思いました。

また、鶴崎先生が講義の中で弾いてくれたピアノの音色が素敵でした！！

ピアノ集中講義

<太田昭子先生 / 活水女子大学教授>

11 / 9 (水) III年 梅野衣央梨

今回の集中講義では、大切なポイントをたくさん学びました。

モーツァルトのソナタの演奏について注意されていたことは、打鍵のスピードについてです。鍵盤から輝かしい音を引っ張り出すためには瞬発力を鍛えなければなりません。その為に、練習の時は鍵盤に指を置いて待って音を鳴らすということが大切なのだと思いました。音の密度を上げたいので、その練習を取り入れてみようと思いました。そして左:右の割合をきちんと意識して弾いていきたいです。

ショパンのエチュードの演奏では、指揮をしながらメロディを自分自身で歌うという練習法を学びました。案外、拍子感がずれたりしていたので、メトロノームばかりに頼るのではなく、自分自身が声に出して拍子を教えることも楽譜をきちんと理解するという点で、重要なのだと感じました。また、声に出すことで、フレーズや呼吸の位置が自然と判断する事が出来るようになりました。

ドビュッシーのアラベスクを弾く時、音を自分の耳できちんと聴いて選んで弾くと音色が変わっていて驚きました。

たくさん収穫があり、有意義な2時間となりました。